

平成 29 年度
(2017年度)

YOKOHAMA Global Education Program

YGEP-N1 (渡日入試)

私費外国人留学生入試(渡日入試)

学生募集要項

横浜国立大学経済学部

目次

経済学部のアドミッション・ポリシー	1
YOKOHAMA Global Education Program (YGEP) とは	1
Global Business and Economics 教育プログラム (GBEEP) について	1
1. 募集人員	1
2. 出願資格	1
3. 出願要領	2
4. 選抜方法等	4
5. 合格者の発表及び通知	4
6. 入学手続等	5
7. 障害等のある入学志願者の事前相談について	5
8. 個人情報の取り扱いについて	5
9. その他	6

添付書式（綴込み）

この要項には、次の本学部所定の用紙が綴込みで添付されています。

- 入学願書・受験票・写真票
- 日本の大学で何を学びたいか
- 払込取扱票
- 「振替払込受付証明書」貼付用紙
- 返信用封筒（長3）2枚
- 出願用封筒（角2）1枚
- 住所氏名記入用紙

問い合わせ先

○私費外国人留学生試験について

社会科学系経済学務係 〒240-8501 神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-3
045-339-3509（9:00～12:45 13:45～17:00 土・日曜日、祝日を除く）

○学生寮について

学務部学生支援課学生支援係 045-339-3190（9:00～12:45 13:45～17:00）

○授業料免除について・奨学金について

学務部学生支援課経済支援係 045-339-3113（9:00～12:45 13:45～17:00）

※ 合格者発表日以前に申請書受付を行うものがあるので、希望者は早めに問い合わせをしてください。

平成29年度 (2017年度) 横浜国立大学経済学部 YOKOHAMA Global Education Program (YGEP) -N1 私費外国人留学生入試 (渡日入試) 学生募集要項

○経済学部のアドミッション・ポリシー

経済学部では、経済社会に常に興味を持ち、自分の力で課題を解決しようとする意欲のある人を求めます。

1. 数学、外国語の基礎的学力を備えた人
2. 必要な情報にアクセスするだけでなく、自己の思考で整理し、さらに自ら情報を発信する力を身につけようとする人
3. 知的好奇心に溢れ、新しい見方やアイデアを具体化し、世の中に貢献していこうとする人
4. 市場システム・経済社会制度を学び、経済学的手法で経済社会の諸課題の解決に挑戦したい人
5. 経済・社会・歴史・制度に深い興味を持ち、世界経済を長期的に展望する能力を育み、国際社会が抱える問題の解決に貢献していこうとする人
6. 経済と法律にまたがる事象に関心があり、経済学と法学の基礎的素養を修得し、法律の専門知識が生かせる仕事に就きたい人

○YOKOHAMA Global Education Program (YGEP) とは

横浜国立大学では、私費外国人留学生の受け入れを積極的に拡充していくため、学部の私費外国人留学生を受け入れる教育プログラムを「横浜グローバル教育プログラム (YOKOHAMA Global Education Program)」(通称: YGEP) と総称し、来日して本学のキャンパスで受験する従来の私費外国人留学生入試「渡日入試」と、海外在住者が来日せずに自国で受験する「渡日前入試」を組み合わせ実施します。

YGEP-N1 の「渡日入試」は、来日して日本語を学んできた留学生で日本語能力試験 N1 相当の能力を有する者を対象とし、本学のキャンパス内で試験を受ける従来の私費外国人留学生入試です。この入試で入学した者は、日本人学生と同様に通常のカリキュラムを履修して卒業することになります。

○Global Business and Economics 教育プログラム (GBEEP) について

本学部では平成29年度より Global Business and Economics 教育プログラム (経済学部・経営学部共同教育プログラム): GBEEP を設置します。私費外国人留学生入試では Global Business and Economics 教育プログラムの選択を希望することができます。

本プログラムは以下のような独自の教育体系を用意します。

1. 経済学を主専攻、経営学を副専攻として選択し、経済学に基づくマクロ的な分析能力と統計処理能力、経営学に基づく組織・戦略マネジメント能力と会計・財務分析能力の2つの専門性を修得することで、グローバル企業で活躍できるビジネス・パーソンを目指します。卒業に必要な単位数は、通常プログラム (124単位) よりも多い132単位です。
2. 英語による専門科目を必修とします。経済学・経営学それぞれの専門科目及び課題プロジェクト演習 (課題解決型、双方向型学修) などを英語で受講します。
3. 海外学修が必修です。

- ① Applied Economics Intensive（海外の大学でのサマースクール）など、海外英語集中キャンプへの参加。
- ② 欧州・アジア英語討論会（海外協定校訪問と現地学生との英語討論会を中心とした交流活動）への参加。
- ③ 海外協定校等への留学。

本プログラムでは上記①～③のうちひとつ以上の選択が必須となり、その際、渡航費・滞在費等の一部あるいは全額について個人負担を伴います。①～③の具体的な内容については平成28年度時点のものについて本学部HP（下記）で紹介しています。

http://www.econ.ynu.ac.jp/international/event/pdf/global_studies_in_economics_2016.pdf

横浜国立大学経済学部→国際交流・留学→国際交流イベント→Global Studies in Economics

1. 募集人員

経済学科 8名

うち Global Business and Economics 教育プログラム 2名

2. 出願資格

日本国籍を有しない者で、次の基礎資格を有し、かつ、要件を満たすもの

【基礎資格】

次のいずれかに該当する者

1. 外国において学校教育における12年の課程（※）を修了した者及び平成29年(2017年)3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
2. 文部科学大臣の指定した者（国際バカロレア資格、アビトゥア資格（ドイツ）、バカロレア資格（フランス）のいずれかを有する者で平成29年(2017年)3月31日までに18歳に達するもの）

※「外国において学校教育における12年の課程」とは、最終学校が地理的場所的に外国で、原則として、その国において制度上正規の学校教育に位置付けられたものであって、卒業（修了）により大学への受験資格を得られることを要します。インターナショナルスクールやアメリカンスクール等の出身者（【基礎資格】2を満たす者は除く）については、本規定によって出願が認められないケースや出願資格の確認等に時間がかかる場合があるので、早めに照会すること。照会先は社会科学系経済学務係とする。

【要件】

次の1、2及び3に該当する者

1. 出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者
2. 独立行政法人日本学生支援機構が平成28年度に実施する日本留学試験（6月又は11月実施）において本学部が指定する教科の全てを受験し、合計得点が8割以上である者（合計得点には、「日本語」の「記述」の得点は含みません）

本学部の指定する科目は以下のとおりです。ただし、出題言語は自由選択とします。

①日本語 ②総合科目 ③数学（コース1）

3. 平成27年(2015年)1月以降に実施された TOEFL 又は TOEIC を受験している者

（注1）日本国籍を有しない者であっても日本の高等学校若しくは中等教育学校又は日本国内に設置されたその他の教育施設を卒業（修了）又は卒業（修了）見込みの者は、一般の入学志願者と同じ扱いになり、この項の選抜に該当しないので注意してください。ただし、基礎資格2. に該当する者は出願できます。

(注2) 外国において12年の課程に満たない国からの志願者は、出願期間以前に社会科学系経済学務係へ問い合わせてください。

3. 出願要領

(1) 出願期間

平成28年(2016年)12月5日(月)から12月9日(金)まで

(2) 出願書類

①志願票・受験票・写真票(本学所定のもの)

(注) Global Business and Economics 教育プログラムの希望の有無について、入学願書該当欄の「 希望する」「 希望しない」いずれかの 内に▼を記入してください。ただし「 希望する」を選択した志願者が本学部合格した場合でも同プログラムを専攻することはできない場合があります。

②「日本の大学で何を学びたいか」

ア 日本語又は英語で作成してください。

イ 本学所定のものと同様の書式により、ワープロ等で自由に作成しても構いません。

③写真2枚

提出前3ヶ月以内に撮影した上半身脱帽、縦4cm×横3cmの同一の写真

それぞれ受験票と写真票に貼付してください。

④成績証明書、卒業(修了)証明書等

次のア・イ・ウのいずれかを提出してください。

ア 在籍した全ての高等学校の成績証明書及び、最終出身学校の卒業(修了)証明書又は同見込証明書で、出身学校長の氏名が記載されたもの。日本語もしくは英語以外で書かれている場合は、その証明書の日本語訳もしくは英語訳を添付して提出してください。さらに、翻訳された内容が原本と相違ないことを出身校もしくは大使館等の公的機関で証明を受けて添付してください。必ず、原本・訳文・翻訳証明の3点を提出してください。

イ 国際バカロレア資格、アビトゥア資格、又はバカロレア資格を取得した者は、最終試験の成績評価証明書及び資格証書(写し)

ウ 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む)に合格した者は、その合格成績証明書

⑤在留カードの写し

両面をコピーして提出すること。ただし、在留カードを交付されていない場合は「パスポートの写し(在留資格・期間記載ページも)」を提出し、受験当日はパスポートを持参してください。

⑥平成28年度日本留学試験成績通知書(6月又は11月実施)と受験票の写し

⑦TOEFL又はTOEICの成績証明書の写し(写しは不可)

次のア・イのいずれかを提出してください。

ア TOEFLの成績証明書を提出する場合

- 平成27年(2015年)1月以降に実施されたTOEFLのスコアを試験実施機関 Educational Testing Service(ETS)から直接横浜国立大学に送付する手続きをしてください。横浜国立大学のコード番号は0410です。出願期間内に必着するよう早めに手続きをしてください。
- 直送手続きの遅れなどにより、出願期間内にTOEFLのスコアが到着しない恐れがある場合は、直送手続きをしている旨を記入したメモ(①直送手続日、②おおよその到

着予定日)を必ず出願書類に同封してください。メモ等がない場合は、出願書類を受理しないことがありますので注意してください。

- TOEFL-ITP (団体向けテスト) のスコアについては、受付できません。

イ TOEIC の成績証明書を提出する場合

- 平成27年(2015年)1月以降に実施された TOEIC テストの受験結果「Official Score Certificate」(公式認定証)を提出してください。
(ただし、ホームページからダウンロードしたものは受付できません。)
- TOEIC SW テスト(スピーキングテスト/ライティングテスト)、Bridge テスト及び IP テスト(団体特別受験制度)によるスコアレポート(個人成績表)は、受付できません。

⑧振替払込受付証明書(お客さま用)(入学検定料)

入学検定料は本要項に綴込みの払込取扱票を用いて、郵便局・ゆうちょ銀行の受付窓口にて払込みをしてください。

払込金額：17,000円 出願期間に間に合うように払い込んでください。

- (注1) 土曜日、日曜日・休日は払込みが出来ません。
- (注2) 「払込取扱票」と「振替払込請求書兼受領証」のご依頼人及び「振替払込受付証明書(お客さま用)」の払込人は志願者本人の氏名住所等を記入してください。
- (注3) 「振替払込請求書兼受領証」および「振替払込受付証明書(お客さま用)」を受付窓口から受け取る際には、必ず受付局日附印を確認してください。
- (注4) 入学検定料が払い込まれていない場合、または払込み済みの「振替払込受付証明書(お客さま用)」が所定の貼付用紙欄に貼り付けられていない場合は、出願を受理できません。
- (注5) 入学検定料を払い込んだが、「出願を取りやめた場合」や「出願が受理されなかった場合」及び「検定料を二重に払い込んだ場合」は本人の申し出により返還します。返還請求の方法は、社会科学系経済学務係にご確認下さい。
- (注6) 第1次選抜で不合格になった者に対して申し出により13,000円を返還します。平成29年(2017年)3月31日までに申し出てください。
- (注7) 出願書類を受理した後は、(注5)、(注6)の場合を除き、いかなる理由があっても払込み済みの検定料は返還しません。
- (注8) 本学では災害等で被災した受験生の進学機会を確保する観点から、本学入学者選抜試験において、出願に際し入学検定料免除の特別措置を行います。特別措置を希望する方は<http://www.ynu.ac.jp/exam/index.html>(災害救助法等の適用地域の被災者に対する入学検定料免除特別措置について)をご確認の上で社会科学系経済学務係までお問い合わせください。

⑨返信用封筒 長形3号 (本学所定のもの2通)

本要項に綴込みの封筒に住所・氏名等を記入の上、切手372円分を貼付してください。

⑩住所・氏名記入用紙(本学所定のもの)

住所・氏名等を記入してください。

(3) 出願方法及び提出先

出願書類等に不備のあるもの及び出願期間後に到着したものは受理しませんので、交通事情や郵便事情等を十分考慮して早めに提出してください。

①窓口受付

- 出願書類等を一括して期間内に横浜国立大学社会科学系経済学務係窓口にて提出してください。
- 窓口受付期間は平成28年(2016年)12月5日(月)から12月9日(金)の平日です。時間は9時から17時までです。(12時45分から13時45分までを除く)

②郵便受付

- 出願書類等を本要項に綴込みの封筒(出願用封筒 角形2号)により、書留速達で郵送してください。

- ・郵送受付期間は平成28年(2016年)12月5日(月)から12月9日(金)必着です。ただし、平成28年(2016年)12月8日(木)までの発信局消印のある書留速達に限り、期限後に到着した場合でも受理します。
- ・外国からの郵送については一切受け付けません。

(4) 受験票の交付

入学願書受付後「受験票」を交付し、1月下旬に発送します。

4. 選抜方法等

- (1) 選抜は、面接、日本留学試験の成績、TOEFL 又は TOEIC の成績及び成績証明書の内容を総合して行います。
- (2) 日本留学試験及び TOEFL 又は TOEIC の成績により第1段階選抜を行います。
 第1段階選抜の結果は、平成29年(2017年)2月8日(水)13時ごろ横浜国立大学ホームページに第1段階選抜の合格者受験番号を掲載するとともに郵送により可否を通知します。(URL : <http://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/pass/index.html>)
 合格者を対象に第2段階選抜(面接)を行います。
 なお、電話による照会には応じません。
 (注1) ホームページの掲載期間は合格発表から概ね4日程度です。
 (注2) 合格者受験番号の掲示発表は行いません。
- (3) 第2段階選抜は、複数の教員による集団面接を行います。志願者が出願時に提出した「日本の大学で何を学びたいか」を参考に、日本留学の動機、本学への志望理由、本学部における勉学の目的などを問いながら、外国人留学生としての意欲、資質等を評価します。なお、Global Business and Economics 教育プログラムを希望する場合は、複数の教員による個別面接を行います。その際、上記に加え、以下の点を特に評価します。(1)国際コミュニケーション能力、(2)グローバルな環境下での協働性やリーダーシップ、(3)数学的思考力、(4)経済と経営への関心度、(5)学修意欲、(6)人間性・倫理観。

面接の日時等

①日時

平成29年(2017年)2月25日(土)

時間は未定です。第1段階選抜結果通知書の郵送時に詳細をお知らせします。

②集合場所

試験は本学構内(横浜市保土ヶ谷区常盤台)で行います。経済学部1号館内の受験者控室(当日指定)に集合してください。

なお、試験当日は正門又は南通用門から入構してください。

③当日の注意

受験票2枚(本学用と日本留学試験のもの)を必ず持参してください。なお、試験開始時刻に遅れた者は、受験できない場合があります。

5. 合格者の発表及び通知

平成29年(2017年)3月7日(火)13時ごろ、横浜国立大学ホームページに合格者受験番号を掲載します。また、合格者には「合格通知書」及び入学手続書類等を郵送します。

(URL : <http://www.ynu.ac.jp/exam/faculty/pass/index.html>)

なお、電話による照会には応じません。

(注1) ホームページの掲載期間は合格発表から概ね4日程度です。

(注2) 合格者受験番号の掲示発表は行いません。

6. 入学手続等

私費外国人留学生試験の合格通知を受けた者は、入学手続を所定の期間内に完了しなければなりません。

(1) 入学手続期間

平成29年(2017年)3月9日(木)～3月14日(火)を予定しています。

詳細については別途通知します。

(2) 入学手続方法

入学手続に必要な書類及び「入学の心得」(手続方法を記したものを「合格通知書」とともに郵送します。

(3) 入学手続に必要な経費

入学料 282,000円〔現行〕

(参考) 授業料 半期分 267,900円(年額 535,800円)〔現行〕

(注1) 入学料及び授業料は、改定される場合があります。

(注2) 在学中に授業料の改定が行われた場合は、改定時から新しい授業料が適用されます。

(注3) 詳細は、入学手続き書類と一緒に送付します。

7. 障がい等のある入学志願者の事前相談について

下表に該当する者(出願後受付終了後の不慮の事故による負傷者等を含む)は、受験及び修学上特別な配慮を必要とすることが起こり得ますので、出願する前に必ず社会科学系経済学務係へ事前に相談してください。

なお、下表から判断できない場合については、お尋ねください。

区分	障 害 の 程 度
視 覚 障 害	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のものうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のも
聴 覚 障 害	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のものうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のも
肢体不自由	一 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のも 二 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のも
病 弱	一 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のも 二 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のも

8. 個人情報の取り扱いについて

志願者の入学試験成績及び出願書類等に記載された個人情報については、本学入学者選抜に係る用途の他、入学後のクラス編成及び本人の申請に伴う入学料免除等の福利厚生関係の資料、本学における諸調査・研究にも利用することがあります。調査・研究結果を発表する場合は個人が特定できないように処理します。それ以外の目的に個人情報が利用又は提供されることはありません。

9. その他

- (1) 在留資格「留学」を取得するにあたっては、留学生生活を維持できる経済的基盤を有している必要があります。
- (2) 入学に関する問い合わせは、社会科学系経済学務係に問い合わせてください。なお、土日祝日、平成28年(2016年)12月29日(木)から平成29年(2017年)1月3日(火)は窓口を閉めており対応できませんのでご注意ください。
- (3) いったん提出した書類は一切返還しません。
- (4) 出願後の提出書類の変更は認めません。
- (5) 出願後に現住所・連絡先などを変更した場合は、必ず社会科学系経済学務係に届け出てください。
- (6) 第1段階選抜の合格発表日から1週間以上過ぎても合否通知が到着しない場合は、社会科学系経済学務係に問い合わせてください。
- (7) 出願書類等や受領時に際して、虚偽の申請、不正等の事実が判明した場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。
- (8) 日本留学試験については、こちらに問い合わせてください。

独立行政法人 日本学生支援機構

〒153-8503 東京都目黒区駒場 4-5-29 電話 03-6407-7457

平成28年11月

(事務担当)

横浜国立大学社会科学系経済学務係

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-3

電話 045-339-3509

(平日 9:00～12:45 13:45～17:00)